



# ムンド・デ・アレグリア学校

ムンド・デ・アレグリア学校は、静岡県浜松市にある南米の日系人の子どもたちのための学校です。ペルー課程・ブラジル課程があり、幼稚園から高等部で270名(2020年11月現在)が在籍しています。子どもたちは皆、出稼ぎ労働者の子女であるため、親の就労に左右され、将来、日本に住むのか、母国に住むのかわからない状況で学習を続けなければなりません。

卒業後の居住地が定まらない子どもたちの背景を考えると、外国人学校本来の役割とは異質な役割が重要となります

## ～ムンド校の「挑戦」～

### (1) ◇ 教育的役割 ◇

母語教育で「豊かな心」を、日本語教育で「生きる力」を



母語教育  
・概念習得(学習)  
・親子の絆  
・アイデンティティ



日本語教育  
・進学に耐え得る  
日本語能力  
・文化・習慣・マナー



日本社会に貢献できる  
人材の育成



### (2) ◇ 社会的役割 ◇

～つどう～  
(交流活動)  
・外国人  
・日本人



ムンド校

～まなぶ～  
(相互理解)  
・現場提供  
・協働作業の機会創出

～つながる～  
(連携)  
・人とひと  
・地域と  
・教育機関と